

ジャワの広大な
 ソロ川にたゆとう月の影。
 月影のきらめく音、
 揺らぎ舞う光。
 雨があがればこの川も、
 ぼくたちの友情に
 虹をかけてくれるだろう。

今も歌い継がれる「ムーン・リバー」の歌詞を
 インドネシアの三つの言語で歌い舞う組曲。

「ムーン・リバー」は、小説「ハックルベリー・フィンの冒険」を歌っています。「困難な家庭から逃れるハック」「奴隷所有者から逃れるジム」二人は、ミシシッピの川下りを始めます。お互いの心の悩みは違っていますが、広大な川は二人に冒険をさせ、友情を育ませました。ジャワに流れる広大な川も、人々の悩みがゆえに人生の冒険を誘い、一人の人間に友情を与えるでしょう。今年の仲秋の名月に川に映る月影に思いを馳せて。

「ムーン・リバー」の歌詞を古ジャワ語、ジャワ語、インドネシア語に翻訳し、ジャワ・ガムランと共に平安時代の白拍子の旋律と舞による創作曲の初演・共演です。

つきかけのかわ

月影之川組曲

古ジャワ語「Benawi awewayang wulan」

日本語と日本古語「ハックルベリー・フィンの物語」「月影之川」

ジャワ語「Kali lelayang bulan」

インドネシア語「Sungai berbayang bulan」

東急線「二子玉川」駅、小田急線「成城学園」駅からのバス停ご案内



profile



桜井真樹子(白拍子)

龍笛を芝祐靖に、天台宗大原流声明を中山玄晋に師事。1997年「もののけ姫」のエボシ御前を見て、白拍子の復元を始める。雅楽の左舞、インドネシア舞踊の「スリンピ」を学び、全国の中世の舞踊を現地調査し、白拍子の歌謡に振り付けを考案していった。「鬢多々良(びんたたら)」「水猿曲(みずのえんきょく)」「蓬莱山(ほうらいざん)」「廻惚(かいこつ)」など、20年に渡り公演を続ける。また2007年より創作能「マンハッタン翁」「橘の姫」「岸辺の大臣」などを発表。2019年よりハイパー能「沖縄平家物語」「睡蓮」「投石」を発表する。

まきこの会 <https://www.sakurai-makiko.com/>
 ホームページ <http://www.zipangu.com/sakurai/>



ランバンサリ有志

(木村佳代、森重行敏、小谷竜一、加藤駿吾、)

インドネシア中部ジャワのガムランを演奏するグループ。1985年結成以来、自主公演や各種イベントへの出演、学校の芸術鑑賞会、講座開催など幅広い活動を行っている。インドネシア、マレーシア、

韓国での公演のほか、TV「題名のない音楽会」「タモリ倶楽部」などに出演。インドネシアの人気女形舞踊家ディディ・ニニトウォ氏、ワヤン人形遣いプルボ・アスモロ氏、マンクスガラン王宮の音楽家ハルトノ氏、ウミヤティ氏、舞踊家ダルトノ氏を招聘し共演。DVD:「万華鏡」(JMVK-1002) CD:「浜松市楽器博物館コレクションシリーズ44 ジャワガムラン〜インドネシア中部ジャワ 青銅打楽器の輝き」(JMCD-1972)

<http://www.lambangasari.com/>

古いジャワ語、ジャワ語、インドネシア語翻訳: ローフィット・イブラヒム